

【個人】

提出 令和2年(2020年)10月17日

## 山行報告書

山行報告提出者：鈴木聖

山名：五竜岳 (2,814m)		(長野県大町市)
入山日：2020年10月13日(火)～14日(水) (1泊2日) 帰宅予定日：10月14日		
プラン担当者 正：鈴木 副：		アルプス平の紅葉 (行動中の写真はガスのため無し)
参加者	L：報：記：鈴木聖 (単独行)	
	男 1名、女 名、計 1名	
天候	10月13日：曇り 10月14日：曇り 時々晴れ	
10月12日 (月)	新宿発バスにて八方へ 周辺宿舎に前泊	
10月13日 (火)	8：00 八方ゴンドラ乗車ー8：40 八方池山荘発ー9：40 八方池ー 11：30 唐松岳頂上山荘ー14：00 五竜山荘 (テント泊) 行動：5h20m	
10月14日 (水)	4：15 起床ー5：20 発ー6：10 五竜岳ー7：00 五竜山荘 (テント撤収)ー 9：00 大遠見山ー10：00 小遠見山ー11：15 アルプス平ー12：00 エスカル プラザ着 行動：6h40m	
荒天候時のエスケープルート：テント泊中止し小屋泊、または引き返す。		
装備と食糧	共同装備：共同食：無し	
	個人装備：ヘッドランプ、雨具、防寒衣、コンパス、地図、テント、シュラフ、マット、グローブ、帽子、ストック、スパッツ、携帯トイレ、テルモス、水2L、ガス一式、調理器具、ラジオ、新聞紙、アイゼン 個人食：4食 プラス 行動食	
感想	<p>10月13日 最後のリフトを下り装備を整え歩きはじめるが、雨こそ降らねどガスで視界は100mほど。もくもくと歩を進めるが、本来拝めるはずの白馬・鹿島は姿を現さない。唐松山荘への最後の詰めが登山路崩壊のため左へ巻くはずが直進に変わっていた。唐松山荘から五竜方面への稜線歩きは前半牛首の鎖など難所があるがあとは快適、ただしここでもまだ眺望は得られず。</p> <p>10月14日 夜明け前、外を覗くと満天の星と雄大な雲海が見え、好天期待にわくわくする。食事・身支度を整え五竜へのスタートを切るところにはあたりがガスに包まれ、またか、と舌打ちする。ガスや薄暗いこともあり、鎖場では少し緊張したが山頂へ到着、10分ほど居たが眺望回復の兆しがないのであきらめて下山した。遠見尾根は8月の山行できついことは承知済だが、やはり登り返しが多く疲れを感じながらアルプス平に到着し帰路についた。</p>	